



SANKO  
GAKUEN

2016年7月12日

学校法人三幸学園

プレスリリース

## 宮城県登米市との連携協力に関する協定締結と新規事業拠点の開設

= 農業と食の6次産業化に関連する教育機関の開設を予定 =

全国11都市に56の専門学校、1つの大学、1つの短期大学、1つの高等学校、35の保育所を運営・展開する学校法人三幸学園（理事長昼間 一彦、本社：東京都文京区）は、宮城県登米市に新たな広域通信制高等学校等の開校（平成29年4月）ならびに新規事業拠点を開設するにあたり、登米市（布施孝尚市長）と、連携協力に関する協定の締結式を行うことになりました。

### 《協定締結式》

- 開催日時：平成28年7月20日（水） 午後2時00分～
- 開催場所：宮城県登米市役所 迫庁舎 2階大会議室
- 開催内容：(1)開会 (2)出席者紹介 (3)協定書署名及び取り交わし (4)挨拶 (5)閉会

今回の協定に至る経緯として、昨秋、登米市による公募「旧米山高等学校校舎等の利活用に係る事業提案」に対して、三幸学園が事業の提案を行い、事業候補者として選定を受けたことが契機となります。その後、登米市と連携し準備を進める中で、教育・文化・まちづくり等の分野において相互に協力し、活力ある地域づくりや人材育成を図り、地域社会の発展に寄与していくことを意図し、このたび協定を締結することになりました。

### 《校地・校舎等の利活用に係る事業内容》

広域制通信制高等学校や社会人教育事業として社会人向け短期スクール等を開校し、カリキュラムは地域の特徴を活かし、農業や6次産業化に関わる内容を設定していきます。なお、通信制高等学校は、飛鳥未来きずな高等学校（仮称）として、宮城県へ設置計画書を提出し、平成29年4月の開校を予定しています。

#### ◎ 広域制通信制高等学校 ◎

若者が地域住民・地域事業者の方々と共に、地域課題に取組み、自身の生きる力を身に着けることを狙っています。具体的には、従来の通信制高校と異なる点として、普通科としての教育課程内に、農業（アグリカルチャー）や食（栄養調理）、6次産業化に関する科目を学校設定学科「キャリア教育」を、また将来的に一人ひとりの興味に合わせて自由に選択できるアカデミー講座内に、年間を通して生産・流通・販売の一連の流れを学ぶ「アグリアカデミー」を設定します。

#### ◎ 社会人教育事業・社会人向け短期スクール ◎

農業・食・6次産業化の分野に就職を目指す社会人教育を実施します。新しく就農・就職を志す希望者をターゲットに、幅広いルートからの農業希望者を確保し職業教育を実施します。また農業従事者の方々が、一生産者からアグリビジネスの視点を持った経営者として、消費者に対して物事を考え、地域農業と食糧問題を先導的に解決でき、地域社会の有為な形成者となる意欲的な農業の担い手と牽引する指導者育成を目指します。

資格制度では国家戦略・プロフェッショナル検定のひとつである一般社団法人食農共創プロデューサーズが実施する「食の6次産業化プロデューサー（愛称：食 Pro.）」の修得を目指します。また国の支援制度等を活用して、求職者が職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職に結び付けることも目指していきます。

両事業とも専門教科の講義（座学・実習）・農地管理において、現地の農業生産法人や企業・個人の方々にご協力を頂くとともに、育成後は既存の学校事業と連携して雇用を創出し、地域の事業・農業生産法人へ就職の斡旋を行います。就職後にも継続フォローを実施し、定着を図ります。

### ◎自然体験学習プログラム◎

幼児～専門学校生・大学生を対象とし、自然体験を通じて豊かな感性・生きる力を育み、いのちの尊さや自然と人間の繋がりを意識できる子どもの育成に向けて実施する事業で、数日間の日程でプログラム体験を行います。内容は、新規拠点を活用した独自プログラムと、登米市内また近郊市町村で実施されている体験コンテンツと協同の下、実施します。運営人員は三幸学園職員と、連携する地元企業・地域の方々、ボランティアサポーター（高校生や専門学校・大学の学生等）に協力を得て、交流人口の拡大も意図し、地域との連携・一体となった企画・運営を行っていきます。

### ◎将来展望◎

三幸学園が有しているノウハウ・実績を活かし、将来的に未就学児を対象とした保育所事業や、小・中学生を対象としたフリースクール・学童事業、ひとり親（母子・父子家庭）・障がい者・高齢者の教育と雇用を目的とした事業展開を予定しています。

### 《旧米山高等学校 現校舎外観・校地画像》



### 《校舎改修後イメージ画像》



#### ■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

・学校法人 三幸学園 事業開発部 担当 藤原 高洋

TEL : 03-6672-9485、FAX : 03-5840-8617、MAIL : [fujiwara-takahiro@sanko.ac.jp](mailto:fujiwara-takahiro@sanko.ac.jp)